

平成 29 年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の概要

I 日時：平成 29 年 7 月 14 日(金) 14:00～16:30

II 場所：明治記念館 1 階「曙」

III 出席者：

1 全国 54 都道府県市獣医師会

担当役員・事務局職員

2 日本獣医師会

会長：藏内勇夫

副会長：酒井健夫

専務理事：境 政人

顧問：北村直人

事務局職員：14 名

IV 説明・報告事項

1 日本獣医師会説明事項

(1) 平成 29 年度事業計画

(2) 獣医学術学会事業関係

ア 学会組織と事業運営の状況

イ 獣医学術学会年次大会・同地区学会の開催

(3) 獣医学術講習会研修会事業

(4) 獣医師生涯研修事業

(5) 獣医事対策等国内外連携交流推進事業

ア 第 2 回世界獣医師会—世界医師会“One Health”
に関する国際会議の開催

イ 日本医師会・日本獣医師会による連携

(6) 獣医事対策等普及啓発事業

ア 2017 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催

イ 日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業

(7) 日本獣医師会における個人情報保護等情報セキュリティ強化対応について

(8) 動物福祉適正管理施策支援事業

ア 動物適正管理個体識別登録等普及推進事業

(9) 部会委員会等運営事業

(10) 獣医療証明様式提供事業

(11) 日本獣医師会獣医師福祉共済事業

ア 生命共済保険事業

イ 獣医師賠償共済事業

2 決議要望事項

(1) 平成 28 年度地区大会決議・要望事項等に対する
対応

3 日本獣医師連盟活動報告

V 概要

【開会】

日本獣医師会事務局の司会で、次のとおり会議が進められた。

【開会の挨拶】

藏内会長から挨拶が行われ、概要を以下に示す。

この 1 年間、皆さま方の支えで日本獣医師会は諸々の事業を推進し、課題解決にたどり着くことができおりますことをこの場をお借りして厚く御礼を申し上げる。

去る 6 月 22 日に日本獣医師会の総会で新しい役員が選任され、私も 3 期目の再選をいただいた。日本獣医師会及び地方獣医師会は、多種多難な課題を与えられており、日本獣医師会と地方獣医師会は同じ目的意識、同じ情報、同じ価値観をもって、課題解決に取り組んでいきたい。

さて、現在、わが国ではどこで大規模な自然災害が発生してもおかしくないと言われており、昨年 4 月に熊本で発生した大地震は、皆さま方のご支援のおかげで早期復旧を進めることができた。本年 7 月 5 日、福岡県で豪雨災害が発生し、5 年前にも近隣の河川で豪雨災害が発生した。その際には 72 時間に 690 ミリの降雨であったが、7 月 5 日は、わずか 9 時間で 770 ミリの降雨量となった。私も 2 日間現地に入り、会員の皆さま方ともども状況を把握した。幸い会員には大きな被害はなかったが、一部の集落等では想像を絶する状況となっていた。特に豪雨のあった地域では、山が真砂土の土質であり、大量の雨で川のように流れてしまう。現場では里山の集落も一気に流れて、被害は甚大となった。あらためて本会で今回の九州北部豪雨災害に対する募金、支援活動を始めたい。ぜひ、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年は、北九州で世界獣医師会と世界医師会の第 2 回目の One Health に関する国際会議を開くことができた。31 カ国 639 名の参加により、福岡宣言を採択し、具体的な活動目標を決めることができた。何よりもこの国際会議を成功させることができたのは、地方獣医師会の皆さまのご協力、ご努力のお陰であった。この国際会議の前日までに 55 の地方獣医師会でそれぞれ地域の医師会との学術に関する協定を締結することができ、私が最も念願した獣医師会と医師会との人と動物を守るネットワークが完成した。私はこのネットワークを通じて One Health 運動をより積極的に推進していきたい。

また、この会議の成果の一つとして、福岡県の人事委

員会はこの国際会議を高く評価していただいた。いわゆる獣医師と医師は同じ役割を果たしている。同じ影響を国民、国際社会に与えているということをご判断いただき、福岡県において特定獣医師職給料表というものを新たに設定いただいた。まだ医療職俸給表（一）とは乖離があるが、今回のこの設定は民間獣医師の給料のアップや新たな獣医師の需要等ができた場合には、この給料表はスライド的にアップしていき、限りなく医療職俸給表（一）に近づけるということであるので、大変ありがたく思っている。

皆さまの一番のご心配、関心事は、獣医学部新設の問題かと思う。私どもは、平成26年の日本獣医師会通常総会において全会一致で採択して、獣医学教育の国際水準への整備充実を強く要請する、この対応から一切ブレていない。30年間、大学教育の充実、世界水準化を求めて、文科省、農水省へ働きかけを続けている。われわれは文科省、農水省とともに獣医師数について調査研究をし、十二分に足りているという認識を持っている。しかし、現在問題となっている地域あるいは職域の偏在を処遇改善によって無くしていこうと、たとえば女性獣医師の雇用支援活動事業や、公務員獣医師の処遇改善、あるいは16獣医学系大学の中で共同で獣医学部等を作って獣医学教育の水準を上げるといったことを推進している。獣医師数は充足しているが、獣医師の偏在という問題は解決していかなければならないので、われわれは地方獣医師会とともに解決に向けて努力を重ねているところである。

さらに、獣医学部の設置は特区制度には馴染まないと考えている。特区は、確かに硬い岩盤を壊していき、たとえば、建物の高さをあと20メートル高くして良いとか、都市開発などの経済行為や規制緩和など、こういった面では良い成果を上げていると思うが、動物の命を守り人の健康を支え、食の安全をしっかりと堅持する、環境を守る、こういった学術の分野を経済行為の規制緩和と同等に論ずることは適当ではないと、われわれはこれまでも申し上げてきた。このことについては、日本獣医師連盟の北村委員長と引き続き情報を共有し、慎重に対応してまいりたいと思っている。北村委員長には日本獣医師会を代弁してご対応いただいていることに心から感謝を申し上げる次第である。今後とも皆さま方としっかりとした連携のもとに、地方獣医師会、日本獣医師会のさらなる前進のため、私どもは全力を傾注したいと思っている。この事務・事業推進会議を通じ、さらに皆さまの日本獣医師会に対するご理解とご支援を賜りますよう、よろしくご意見申し上げます。限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をいただきたい。

【議 事】

1 日本獣医師会説明事項

- (1) 境専務理事から挨拶及び平成29年度事業の概況について説明が行われた。
- (2) 事務局担当者から、順次、以下の説明が行われた。
 - ① 獣医学術学会事業関係として、平成29年度獣医学術学会年次大会及び獣医学術地区学会の開催、地区学会賞選考演題数、日本獣医師会学会学術誌への投稿の推進、地区学会への学会正副会長の出席予定について
 - ② 獣医学術講習会研修会事業として、獣医療提供体制整備推進総合対策事業に係る研修・講習会、産業動物臨床・小動物臨床・獣医公衆衛生の講習会について
 - ③ 日本獣医師会獣医師生涯研修事業として、獣医師生涯研修センターシステムの利用について
 - ④ 獣医事対策等国内外連携交流推進事業として、第2回世界獣医師会—世界医師会“*One Health*”に関する国際会議の開催報告、日本医師会・日本獣医師会による連携対応について
 - ⑤ 獣医事対策等普及啓発事業として、2017動物感謝デー in JAPANの開催の概要、日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業について
 - ⑥ 日本獣医師会における個人情報保護等情報セキュリティ強化対応として、現在進めているPマーク取得に向けた日本獣医師会のセキュリティ強化対策について
 - ⑦ 動物福祉適正管理施策支援事業として、動物適正管理個体識別登録等普及推進事業について
 - ⑧ 部会委員会等運営事業として、特別委員会と部会委員会の開催について
 - ⑨ 獣医療証明様式提供事業として、発送代行の対応について
 - ⑩ 日本獣医師会獣医師福祉共済事業として、生命共済保険事業、獣医師賠償共済事業についての概要について
- (3) 地方獣医師会から、①マイクロチップ挿入の義務化に当たっての獣医師会の財政基盤強化対策、②マイクロチップ登録業務の公益事業としての推進方法、③マイクロチップの登録に係る手数料収納方法等の対応、④日本獣医師会の個人情報セキュリティ強化に当たっての会員情報管理システムに対する考え方、⑤がっこう新聞に記載の文言内容の対応、⑥獣医療の診療内容に関する個別の電話相談への対応について、質問・確認が行われた。

また、福岡県獣医師会及び大分県獣医師会から、豪雨災害へのご支援に対する御礼と対応状況についての報告が行われた。

2 決議要望事項

事務局から、平成 28 年度に実施された地区獣医師大会における決議要望事項等の内容とその対応の説明が行われた。

3 日本獣医師連盟活動報告

北村直人日本獣医師連盟委員長から最近の活動について報告が行われた。